



連載 米軍資料に見る伊勢崎空襲

企画展に合わせて、本号から3回にわたる連載で展示資料を紹介します。今回は米軍資料に関連する展示資料です。

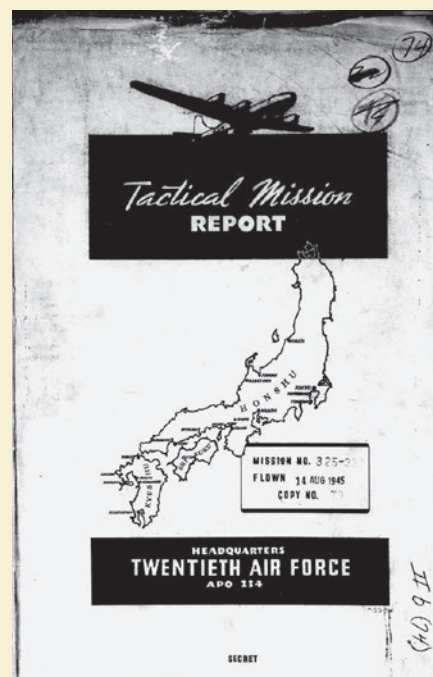
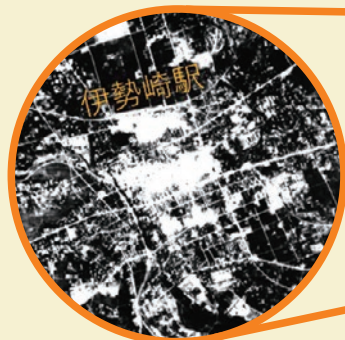
伊勢崎市が空襲を受ける

日本がポツダム宣言の受諾を連合国へ通達した約1時間後の昭和20年8月15日の午前0時過ぎ、伊勢崎は米軍86機からなる大型戦略爆撃機B-29により、焼夷弾による空襲を受けました。空襲は伊勢崎駅南側の市街地を中心に、名和村(山王町)、宮郷村(田中島町)、三郷村(波志江町)まで及び、40人の命を奪い、数えきれないほどの家屋を焼失させました。この終戦前夜の伊勢崎空襲は、「たまたま空襲を受けた」との話もありますが、米軍資料を見ると実態は異なっています。米軍はその年の2月に偵察機による航空写真を撮影した上で、7月には全国180都市を攻撃目標として選定し、群馬県内では前橋市・桐生市・高崎市・伊勢崎市が挙げられていました。伊勢崎空襲は「たまたま」ではなく、計画的に実行されたものでした。

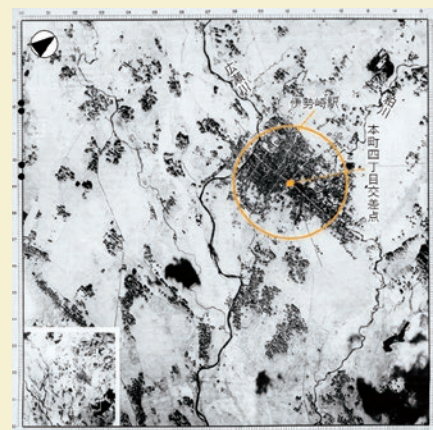
伊勢崎空襲の作戦が決定

伊勢崎空襲が作戦として決定されたのは8月13日のことで、その作戦の内容は米軍の「作戦任務報告書」と「空襲損害評価報告書」から読み取ることができます。事前に偵察した航空写真から、本町四丁目の交差点を中心とした市街地の大部分を含む半径約900メートルの範囲が焼夷弾の投下目標とされ、この範囲に必要な焼夷弾投弾量と爆撃機数を積算し、市街地壊滅を綿密に計算していました。

この日の空襲は伊勢崎市だけでなく、同じく市街地の夜間攻撃による焼夷弾空襲を受けた熊谷市の他、光海軍工廠(山口県光市)、大阪陸軍工廠(大阪府大阪市)、三鷹鉄道操車場(東京都三鷹市)、日本石油精製所(秋田県秋田市)の軍事施設や流通網へ打撃を与えるための空襲も一連の作戦として計画・実行されました。そして、これらの空襲が日本で最後の空襲となりました。次回は、伊勢崎空襲で投下された焼夷弾を紹介します。



◀伊勢崎空襲が計画された「作戦任務報告書」



◀伊勢崎空襲の爆撃中心地と投下目標範囲



◀米軍が撮影した空襲後の伊勢崎市

企画展 終戦前夜の伊勢崎空襲

今年で太平洋戦争が終結してから80年の節目を迎えます。終戦前夜の昭和20年8月15日の午前0時過ぎ、伊勢崎市は米軍の大型戦略爆撃機B-29から投下された大量の焼夷弾によって市街地を中心に焼失しました。当時、米軍は日本の主要な都市を攻撃目標としてリスト化し、伊勢崎市もその対象として綿密な作戦が準備され、焼夷弾による空襲が実行されました。

今回の企画展では、米軍の作戦任務報告書や焼夷弾などの実物資料から、伊勢崎空襲の実態に迫ります。そして戦後80年を迎えた今、「十五年戦争」と呼ばれる満州事変から日中戦争、太平洋戦争を経て終戦に至るまでの歴史を知り、戦争について考えます。



▲横浜を空襲するB-29

時 6月13日(金)から8月31日(日)までの午前9時～午後4時30分

※月曜日、7月22日(火)、8月12日(火)は休館です

※7月21日(祝)、8月11日(祝)は開館します

場 赤堀歴史民俗資料館

¥ 無料

問 赤堀歴史民俗資料館(☎63-0030)

歴史文化講座を開催

企画展の内容に合わせた講座を開催します。

【第1回】

時 7月6日(日)午後1時30分～3時

演題 経済の論理と国家の論理ー上海から見た日中戦争ー

講師 今井就稔さん(群馬大学共同教育学部准教授)

【第2回】

時 7月20日(日)午後1時30分～3時

演題 アジア太平洋戦争と高崎連隊

講師 前沢哲也さん(新田荘歴史資料館学芸員)

*

*

いずれも

場 赤堀公民館

定 各100人(先着順)

¥ 無料

申 6月11日(水)から直接または電話で赤堀歴史民俗資料館、または専用HPから申し込んでください



▲専用HP

映画「ひろしま」の上映

原爆投下から8年後の昭和28年の広島を舞台に、急性被爆症状に苦しむ人々の実態と共に、原爆が投下された日を、多くの広島市民が出演して再現しています。世界の人々に原爆を知ってほしいという強い願いが込められたこの作品は、完成から半世紀以上も多くの人に知られることがありませんでしたが、近年世界で注目を集めています。

時 8月3日(日)午前10時開始

※上映時間は1時間44分です

場 赤堀公民館

定 100人(先着順)

¥ 無料

申 当日直接会場へ

